

シーシーエス株式会社
2015年7月期第1四半期
決算説明



2014年12月10日
JASDAQ コード6669

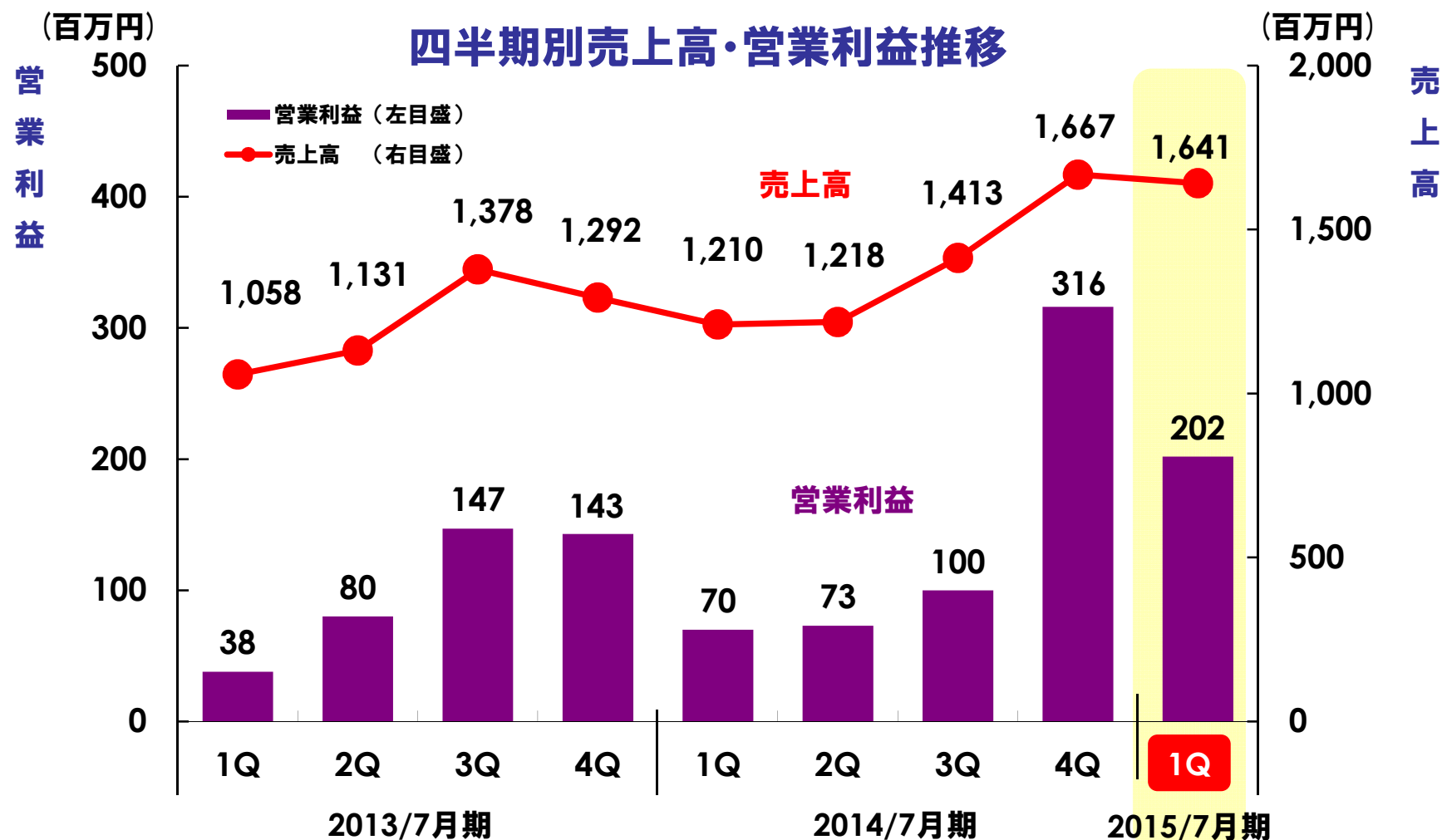
目次

- 1. 2015年7月期 第1四半期 決算概要**
- 2. 2015年7月期 第1四半期 事業分野別の状況**
- 3. 参考資料～会社概要**

1. 2014年7月期 第1四半期 決算概要

決算ハイライト

売上高・営業利益ともに前年同期より大幅増加



決算キーポイント

2014年7月期1Q			2015年7月期1Q	
売上高	:1,210百万円	➡	売上高	:1,641百万円
営業利益	: 70百万円		営業利益	: 202百万円

1Qとしては過去最高売上、最高営業利益

1Q売上高 : 前年同期比 + 35.5%

1Q営業利益: 前年同期比 + 189.1%

- Rsee(合併会社)の売上貢献
- 設備投資の緩やかな回復基調と、全社をあげた営業力強化への取組みが功を奏して、国内海外のMV事業は好調を維持

2015年7月期 連結業績

(単位:百万円)

	2014/7月期1Q		2015/7月期1Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	1,210	100.0	1,641	100.0	+430	+35.5
売上総利益	730	60.3	989	60.3	+258	+35.4
販管費	660	54.5	786	47.9	+126	+19.1
営業利益	70	5.8	202	12.3	+132	+189.1
経常利益	55	4.6	199	12.1	+143	+257.2
当期純利益	39	3.3	177	10.8	+138	+349.1

前年同期比

キーポイント

売上高



国内、海外ともに前年同期比プラス

売上総利益



前期と同比率で推移

販管費



対売上比▲6.6ポイント

営業利益



対売上比10%超

当期純利益



対売上比10%超

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	14/7 期末	15/7 1Q	負債・純資産	14/7 期末	15/7 1Q
現金及び預金	1,820	2,070	流動負債	2,025	2,196
受取手形及び売掛金	1,602	1,618	固定負債	901	970
たな卸資産	966	1,086			
その他	127	153			
流動資産合計	4,515	4,928	負債合計	2,927	3,167
有形固定資産	1,034	1,046	資本金	462	462
無形固定資産	137	128	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	370	347	利益剰余金	1,190	1,314
			為替換算調整勘定	18	47
固定資産合計	1,542	1,522	純資産合計	3,131	3,283
資産合計	6,058	6,451	負債・純資産合計	6,058	6,451

受注増加に伴い、製品在庫を積み増した結果、買掛金が増加。長期借入金の借り換えによって、固定負債が増加いたしました。

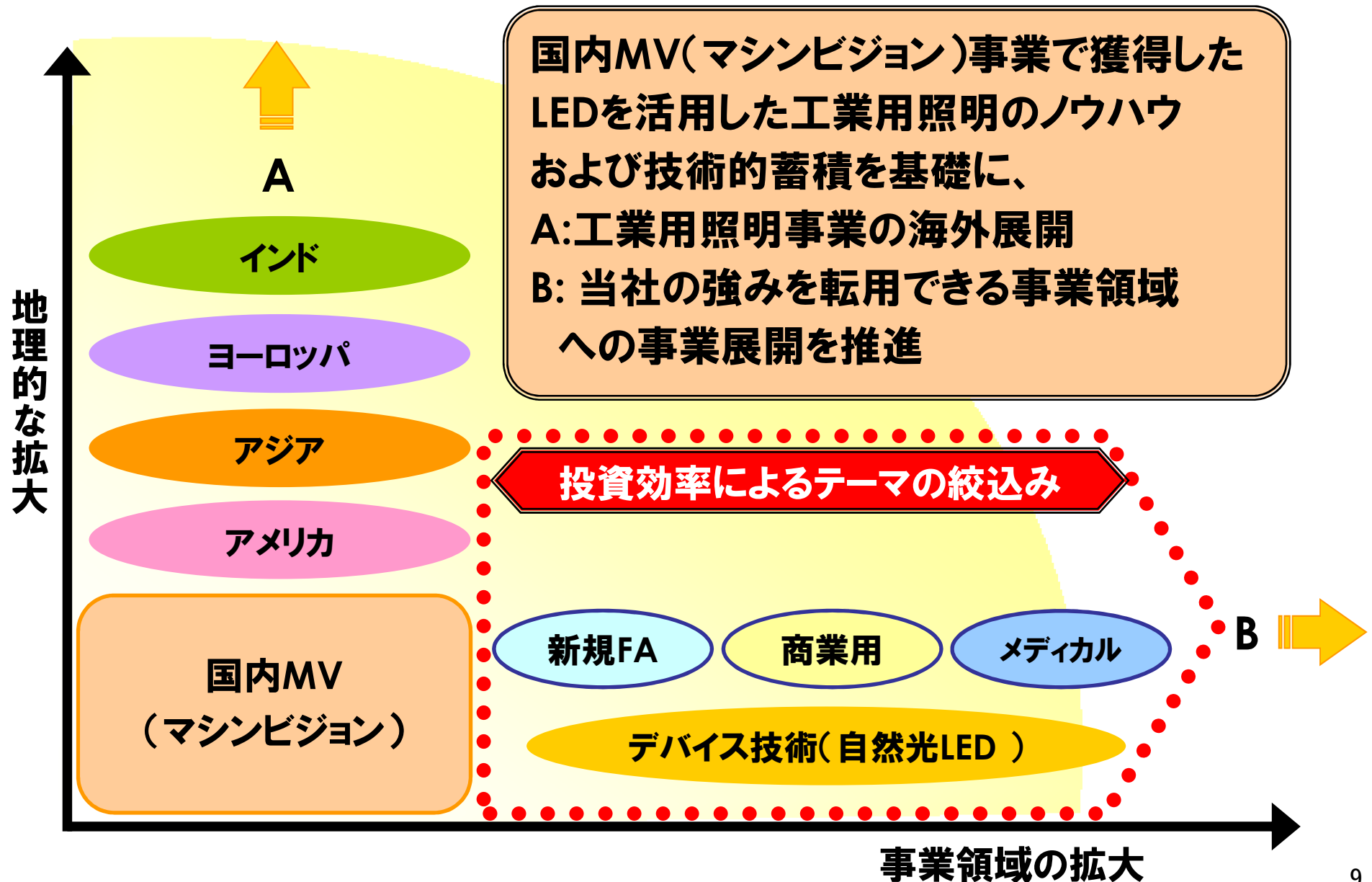
2. 2015年7月期 第1四半期 事業分野別の状況

①事業推進の考え方

②MV(マシンビジョン)事業

③新規事業

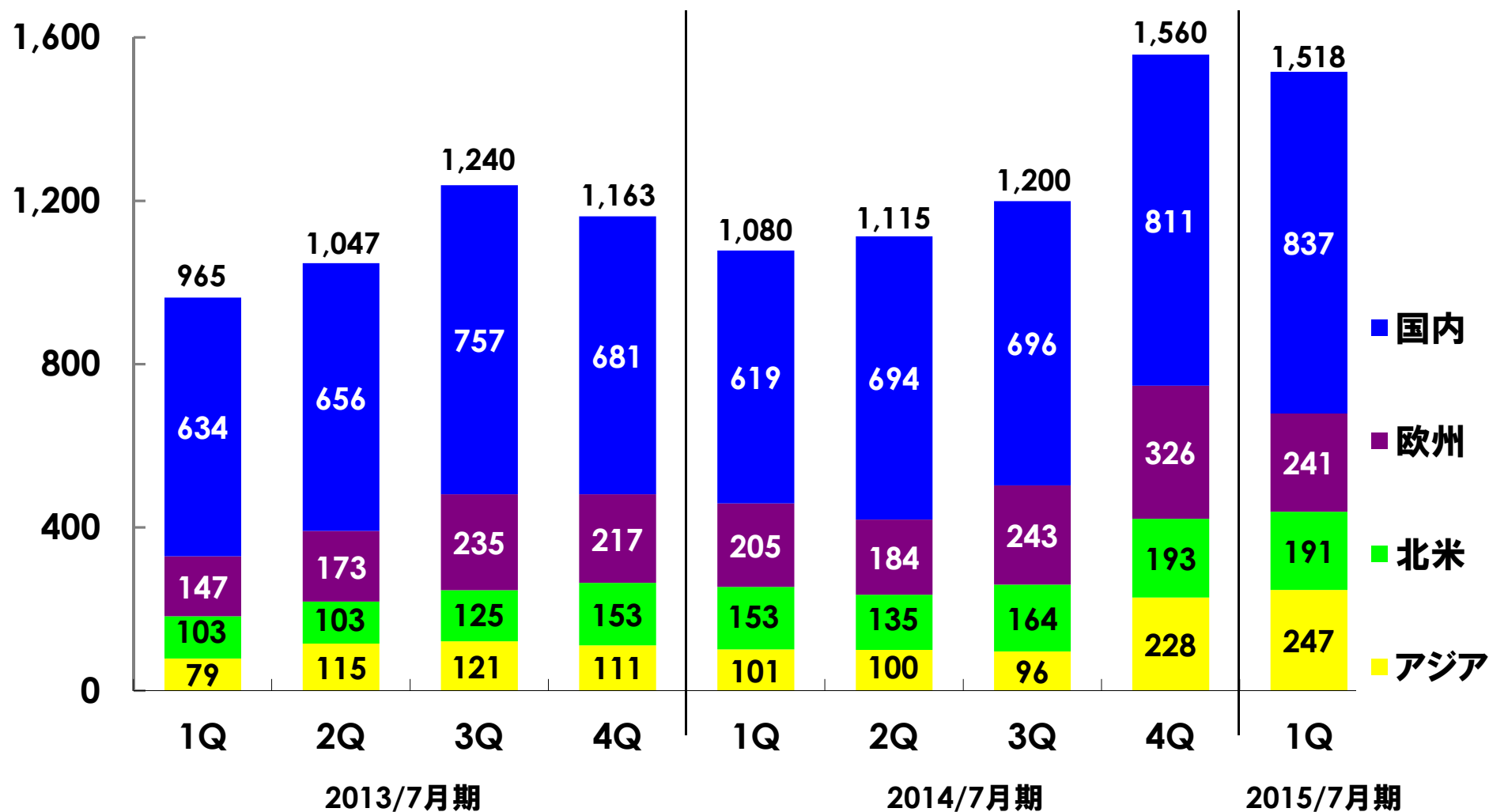
①事業推進の考え方 事業拡大に向けて



② MV事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円)

(2013年7月期～2015年7月期)

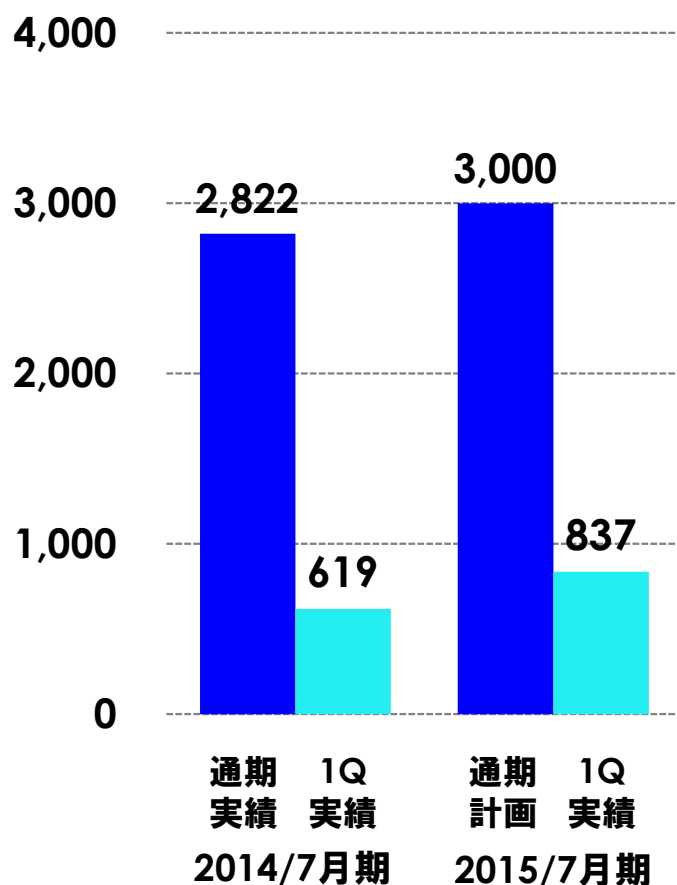


※ 2015年7月期から、MV事業に分類していたUVビジネスを、
新規事業に移管したため、2014年7月期および2013年7月期の実績数値を調整しています。

② MV事業 国内

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



※ 2015年7月期から、MV事業に分類していたUVビジネスを、新規事業に移管したため、2014年7月期実績数値を調整しています。

2015年7月期1Q トピックス

■ 市況は好調を持続

電子部品・半導体業界は、設備投資が活発化。自動車部品や三品業界(食品・医薬品・化粧品)向けも堅調。

■ 営業活動の細かな見直しを継続

前期から取り組んでいる訪問管理、予材管理、案件管理などを継続し、営業マインド改革を継続。

■ 販売力強化のための取組み

販売代理店へ、当社製品販売のためのツールやセミナーを用意し、販売サポートを実施。テストングルーム(照明実験室)を国内4か所から6か所に増設し、エリアごとの営業力を強化。

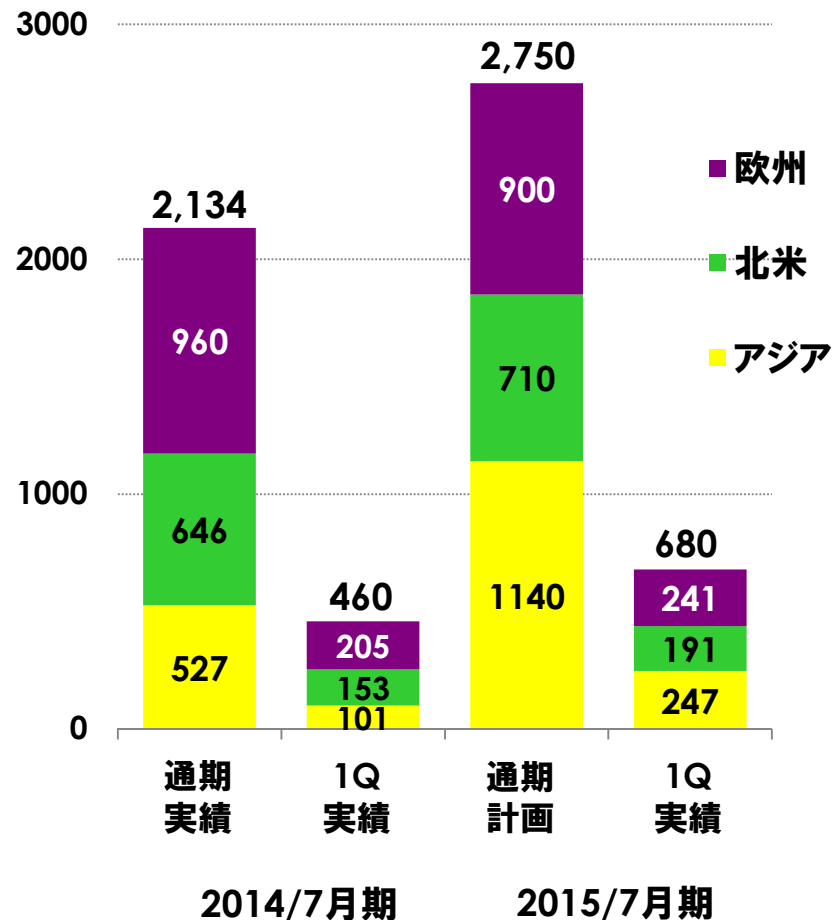
■ 商材の拡充によるソリューション力強化

照明・電源の単品販売から、レンズ、カメラ等の商材を拡充、顧客のニーズに沿った提案力を強化。他社との積極的なアライアンスにより、競争力の高い製品の投入を進める。

②MV事業 海外

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



2015年7月期1Q トピックス

■欧州：代理店との連携の成果

大手販売代理店の事業拡大に伴い、連携を強化、大型案件の獲得により現地通貨ベースでも増収。現在も特注対応などのフォローを継続中。

■北米：新規エリア開拓進む

好景気が続き、継続的に受注を獲得している。同時に、前期から取り組んでいる新規エリア開拓を進め、販売代理店との協力体制を構築。下期に向けてさらなる積み増しをねらう。

■アジア：営業エリアの拡大

中国合併会社Rsee稼働が本格化し、売上貢献。中国市場向け製品の拡販を、CCS製品とRsee製品の両ブランドで進める。

※ 参考情報:レート

通貨	2014年7月期1Q	2015年7月期1Q
USD	98.27円	106.03円
EUR	132.02円	137.45円

② MV事業

営業拠点



営業拠点を増設・強化

■ 金沢テストイングルーム 石川県金沢市

■ 守山テストイングルーム 滋賀県守山市

2014年9月1日オープン

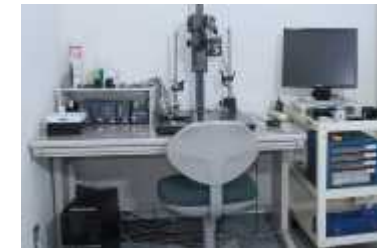
地域密着型の営業の強化およびスピーディかつきめ細やかなサービス提供を目的とし、開設。検査対象物に対し、ライティング実験を行い、最適な照明を提案する。



■ 名古屋営業所に
ラインセンサ実験室を新設



テストイングルームの様子



② MV事業 新製品

顧客ニーズに沿った製品開発と積極的なアライアンス

① ラインセンサ用照明 LNSDシリーズ

(2014年10月発売)

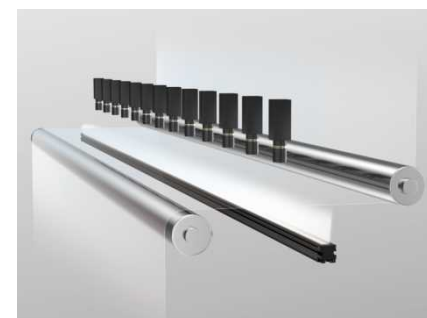
明るくコンパクト

汎用性の高いラインセンサ用照明

従来品比で2倍の明るさを実現しながらも、

重量は60%カット

蛍光灯からの置換えも可能なサイズと、均一な光を実現



LNSDシリーズ
使用イメージ

② クロスラインライトガイド

(2014年10月発売)



株式会社オプテルと共同開発

光源ユニットに接続して使用

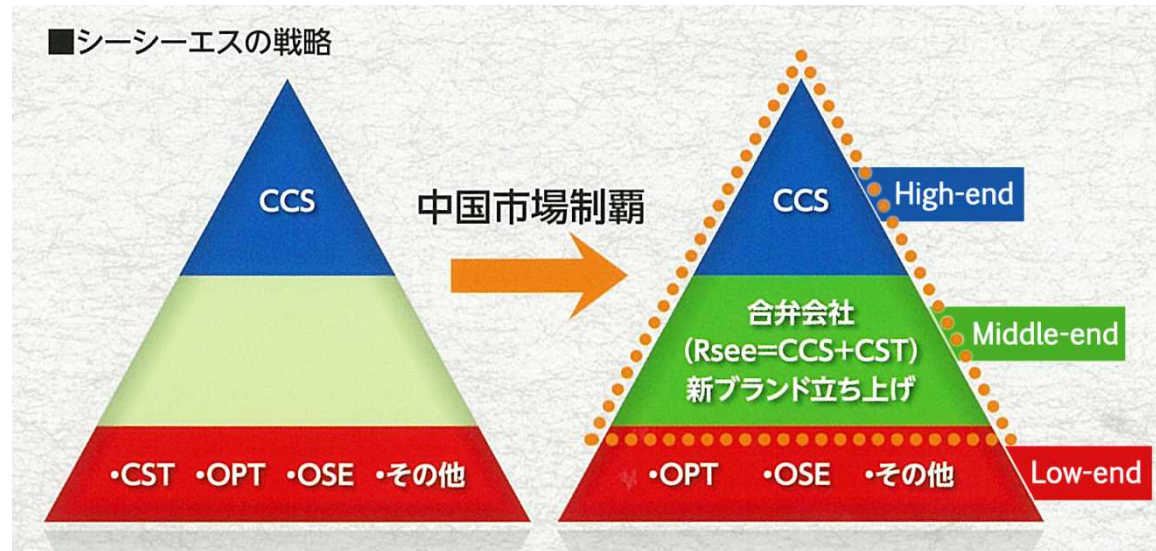
ごく微細なキズ検出を可能にした製品

ラインセンサでの大型、長尺ものへの検査用途

光源ユニットからファイバーで強力な光を照射

② MV事業 合併会社Rsee

シーシーエスの中国戦略



東莞市東城区
創意産業パーク内に所在

高まる品質要求にRseeブランドの展開で 市場ニーズをキャッチ

現在の中国市場は、
CCSの展開する
ハイエンド製品マーケットと
現地企業が展開する
ローエンド製品マーケットで
構成されている。



工業の高度化が進み、ユーザー
からの品質要求が高まる中、
ローエンド製品よりも機能・性能・
品質への信頼性の高い
ミドルエンド製品へのニーズ拡大
が進む。そこで、ミドルエンド市場
を創出し、CCSブランドと、
Rseeブランドによって
中国市場を席巻していく。

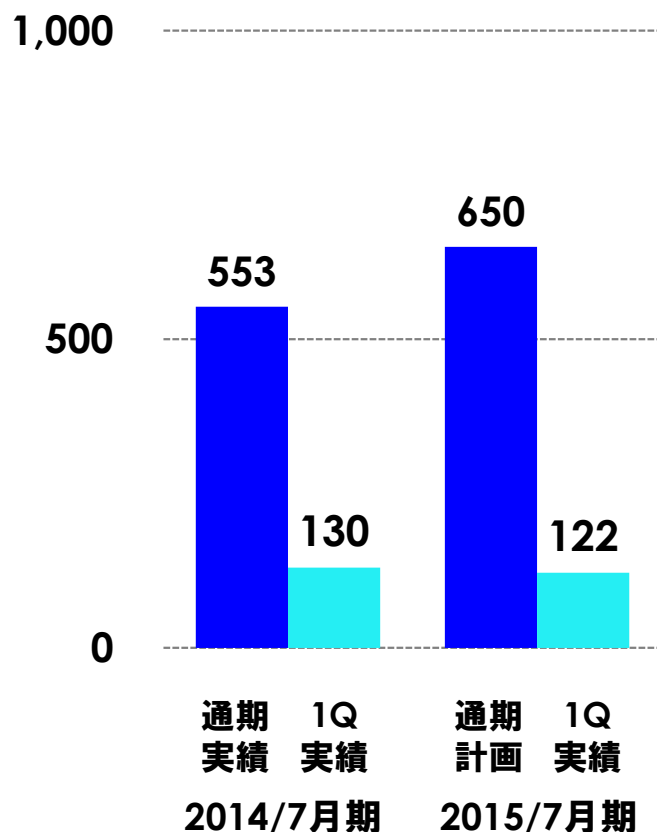


製品の上市が進む

③新規事業

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



※ 2015年7月期から、MV事業に分類していたUVビジネスを、新規事業に移管したため、2014年7月期実績数値を調整しています。

2015年7月期1Q トピックス

- 全体として、売上高は堅調に推移
 - ・デバイスビジネスおよび、今期より新規事業に移管したUVビジネスは、売上は好調に推移。
 - ・受注の波が大きいアグリバイオビジネスは、大口案件が前年同期より減少。
 - ・美術館・博物館ビジネス、メディカルビジネスは堅調に推移。
- 案件獲得に向けた取り組み
 - ・医療分野への「自然光LED」の拡販を進めているデバイスビジネスは、カスタム対応した製品の納入が始まり、売上に貢献した。
 - ・美術館・博物館ビジネスでは、学芸員へのセミナーを定期的の実施し、「自然光LED」の周知活動に努めている。

③新規事業 デバイスビジネス

CCSのデバイス商材：「自然光LED」、「UV-LED」

～ デバイスビジネスの考え方 ～

- ・CCS独自の自然光LED、UV-LEDデバイスを商材として、かずのご展開することで事業領域の拡大を目指す
- ・当該分野のトップメーカー、継続的に利益の見込める企業に厳選して供給



・デバイス 実物

CCSデバイス
使用の製品



■ 商業施設向け

Cool SPOT α LED

2014年8月

ウシオライティング株式会社より、リニューアル発売。
高い演色性で、生花や料理、人の肌色の美しさを引き立てる光として、ホテルやブライダルシーンなどあらゆる場面で活躍。

■ 医療分野向け

「自然光LED」は、超高演色で正確な視覚判断を可能にし、「UV-LED」は樹脂の硬化などに幅広く利用されている。
きめ細かいカスタム対応ができるため、医療分野からの引合いが多数。



・歯科重合機

③新規事業

美術館・博物館ビジネス
アグリバイオビジネス



独自に開発した「自然光LED」を 搭載したミュージアム向け照明

導入館は60を超え、全国の美術館・
博物館へ導入が進む。
作品本来の美しさを忠実に再現し、
文化財への光によるダメージも軽減。



MUSEUM COB SPOTLIGHT

■ 導入館（一部）

加島美術(アートギャラリー)	2014年04月
九州産業大学美術館	2014年04月
佐賀県立九州陶磁文化館	2014年03月
佐賀県立美術館	2014年03月
出光美術館	2014年03月
大阪芸術大学スカイキャンパス	2014年01月
京都府立堂本印象美術館	2013年09月
富山水墨美術館	2013年07月

フィリップス社製 GreenPower LED 全国の植物工場への積極展開

■ GreenPower LED とは

- ・ 世界各国で1,000件以上の導入実績
- ・ 防水規格 IP66
意外に多い植物工場の水トラブルによる
漏電・生産ライン停止対策に重要
- ・ 多彩な発光色ラインナップ 従来の赤・青色に加え、
 - ① 野菜の緑色が確認できる
「作業性」重視の赤白色
 - ② 「成長促進」効果の遠赤色



■ グリーンハウス トマト・パプリカ用 GPLD

1. 経営体質の革新

- 1) 企業連携の積極推進による経営基盤の強化
- 2) 付加価値を生み出すすべての生産活動の効率化
- 3) 顧客満足を最大にする人的品質・製品品質の徹底追及

2. MV事業の拡大と新規事業の再構築

- 1) 総合力練磨による断トツトップシェア、CCSブランドの盤石化
- 2) 未開拓エリアや攻めきれていない海外市場への積極攻勢
- 3) 新規事業の成長性、実現可能性etcの再検証と新芽発掘

3. 開発力の更なる革新強化

- 1) マーケティング力とシームレス製品企画力の徹底強化
- 2) 顧客QCDSの満額回答を可能にする技術・生産力の高度化
- 3) ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

22期 全社スローガン

(2015年7月期)

**正しいことを正しくやる
当り前のことを当り前にやる**

－ 凡事徹底 －

3. 参考資料 ～会社概要～

Creating Customer Satisfaction

社是 : 『お客様に愛と感謝』

基本理念: 『光を科学し、社会に貢献する』

行動指針: 『すべてはお客様のために』

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 ※ 213名(連結)、187名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 4,138,000株
A種優先株式 5,103株
- 株主数 ※ 普通株式 3,160名
A種優先株式 4名 ※ 2014年7月末現在
- 連結子会社 CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD. / CCS Europe N.V.
CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
東莞銳視光電科技有限公司(Rsee)
- 拠点数 国内 8ヵ所 京都本社・生産センター・光技術研究所
東京・名古屋・仙台・金沢・守山
海外 9ヶ所 ボストン・エルパソ・ベルギー・シンガポール・タイ
上海・深圳・東莞・台湾 (連結子会社含む)



本社(京都市上京区)

沿革

- 1993 シーシーエス株式会社を資本金1,000万円で設立
- 1999 CCS America, Inc.(100%子会社)を設立(米国マサチューセッツ州)
- 2000 東京営業所を開設
- 2001 本社移転(現所在地)
- 2003 上海駐在員事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 ISO9001認証取得
- 2006 ISO14001認証取得
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
- 2009 連結子会社であるRDV(S)PTE .LTD.の商号をCCS Asia PTE.LTD.へ変更
医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 CCS Asia PTE.LTD.バンコク駐在員事務所を開設(タイ・バンコク)
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立(インド)
- 2012 医療用LED照明の開発・販売、医療分野へ参入
- 2013 台湾駐在員事務所を開設(台湾 新竹県)
- 2014 CCS America, Inc.エル・パソ テキサス テスティングルームを開設(米国テキサス州)
東莞鋭視光電科技有限公司を設立(中国広東省東莞市)
金沢テストングルームを開設(石川県金沢市)
守山テストングルームを開設(滋賀県守山市)

参考資料:LED開発の歩み

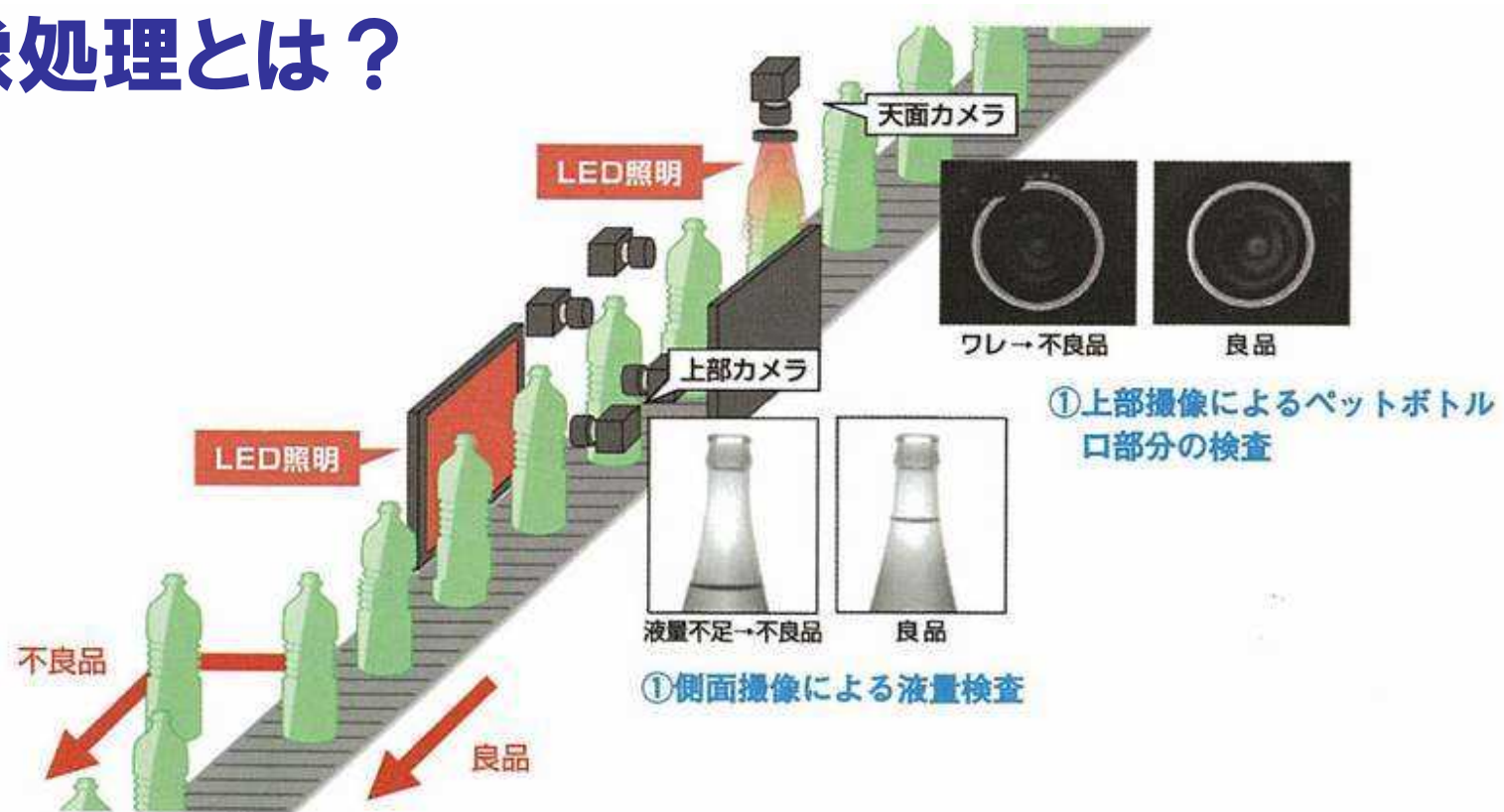
- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上
高演色性白色の開発

シーシーエスの主力事業

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

画像処理とは？

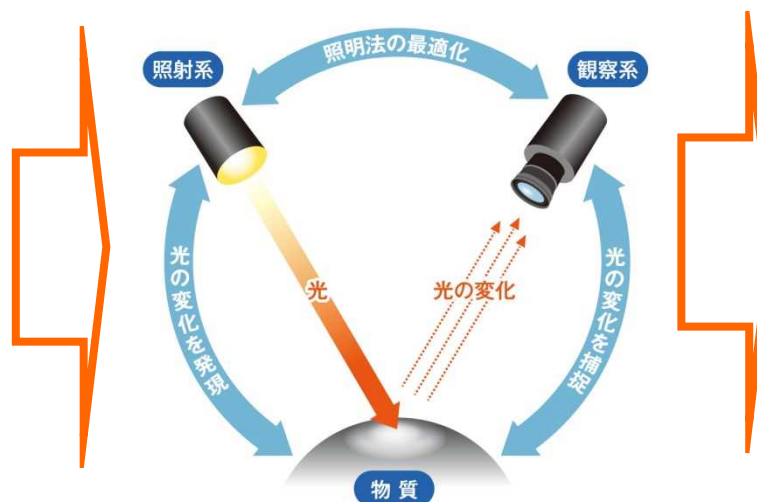


ライティングソリューションの重要性

<照明法の最適化>



流通している硬貨。
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が技術・ノウハウである、
「ライティングソリューション」です。

信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

シーシーエスの事業領域

新規事業

UVビジネス



美術館・博物館 ビジネス



MV事業

マシンビジョン用照明 (エリア照明・ラインセンサ用照明)

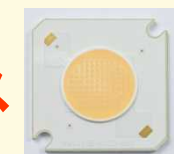
メディカルビジネス



アグリバイオ ビジネス

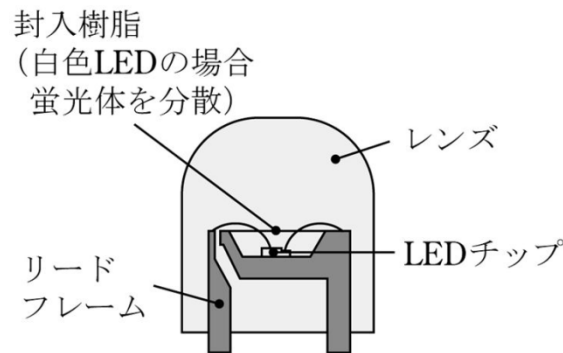


デバイスビジネス

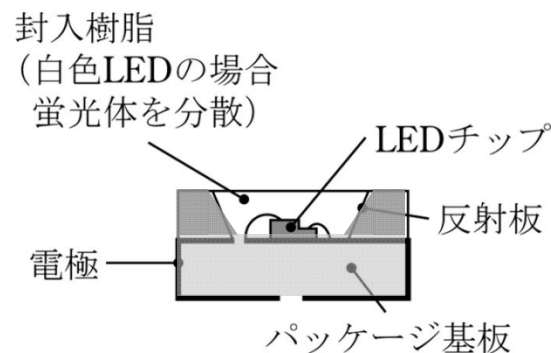


LEDの種類と構造

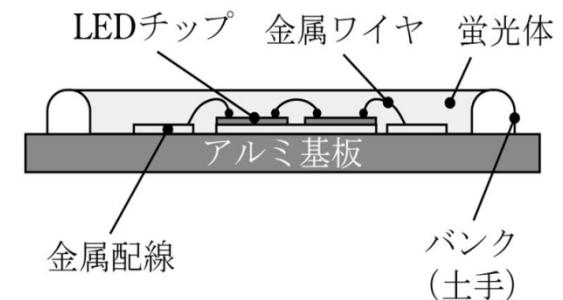
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

* 参照: 公益社団法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

LEDデバイス技術

【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】

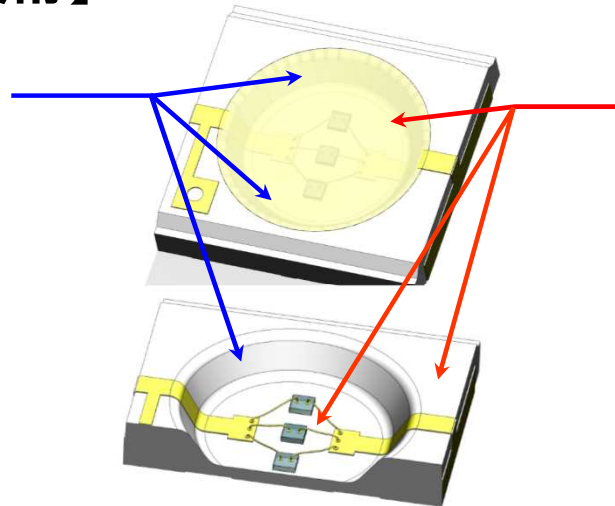
材料及び封止方法の最適化

【封止樹脂】

材料特性、表面形状の最適化

【リフレクタ形状最適化】

壁面高さ、角度、高反射率



長寿命化

【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

【ボンディング材料】

耐熱・耐光性向上、高放熱性

【パッケージ材料】

高反射率、高放熱性

【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】

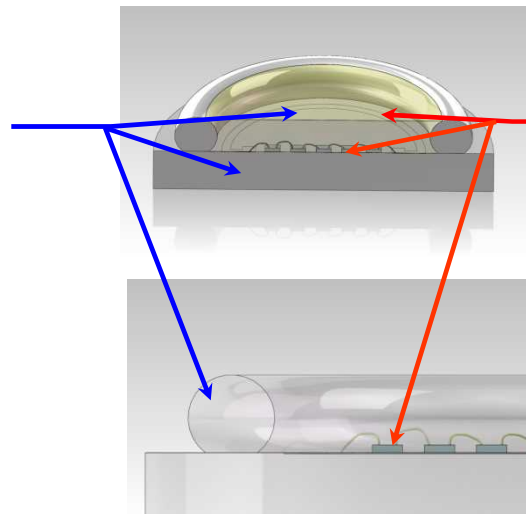
材料及び封止方法の最適化

【ダム材】

高反射率、成型化

【基板材料】

高反射率、高放熱性



長寿命化

【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

【実装パターン】

狭ピッチ、高反射率

【ボンディング材料】

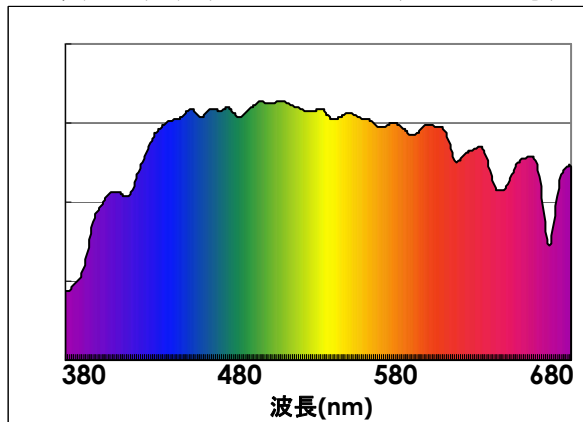
耐熱、耐光性向上、高放熱性

「自然光LED」とは

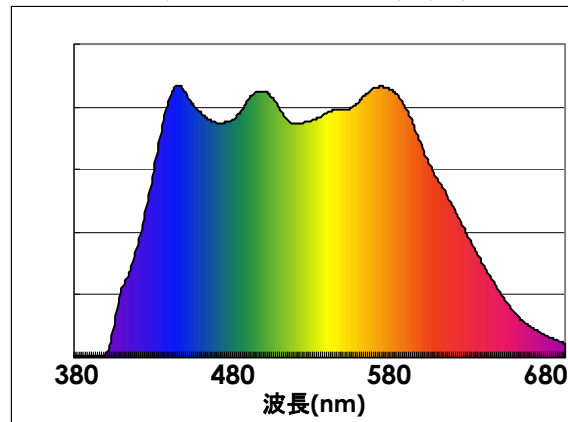


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数*において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)



“自然光LED5000 K”の分光分布

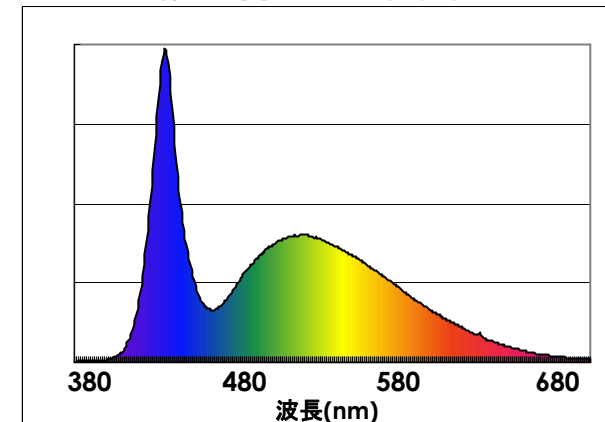


太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現



肌の色も自然に美しく魅せることができます

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い



照明学会全国大会 第47回大会 2014年9月

▶▶ 【講演番号14-1】白色LED照明が日本画の見えに及ぼす影響の検証

近年、美術館などの展示空間において、LED照明が多く導入されるようになった。紫色励起の白色LEDは演色性が非常に高く(単位:Ra)、様々な色の再現性に優れている。しかし、色の見えが作品の印象に大きく影響する美術館でLED照明をより有効に活用していくためには、さまざまな特徴を持った絵画に関するデータを蓄積していく必要がある。本研究では、LED照明が日本画の見えに与える影響を把握し、絵画鑑賞に適した照明環境の検討を行うことを目的とした。

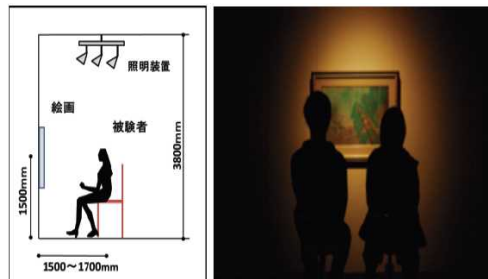


図1. 実験空間



図2. 実験を行った絵画

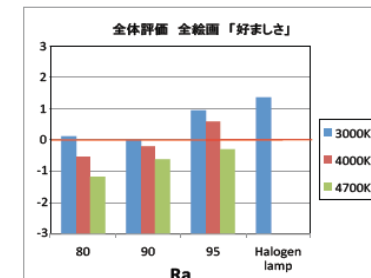
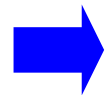


図3. 評価結果



今回の実験では日本画に限定し、主観評価実験を行うことで絵画の見え方に影響する評価要素を明らかにした。結果として、全体として対象となる絵画に適した色温度の高演色LED照明を選択することで、好ましい見えを得られることが示された。

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡



美術館

生鮮食品などのショーケース用照明



食品



ホテル・会場



設備投資・減価償却・研究開発費の推移



(単位:百万円)

	12/7 累計	13/7 累計	14/7 累計
設備投資	94	128	266
有形固定資産	77	103	160
無形固定資産	17	24	106
減価償却	145	124	146

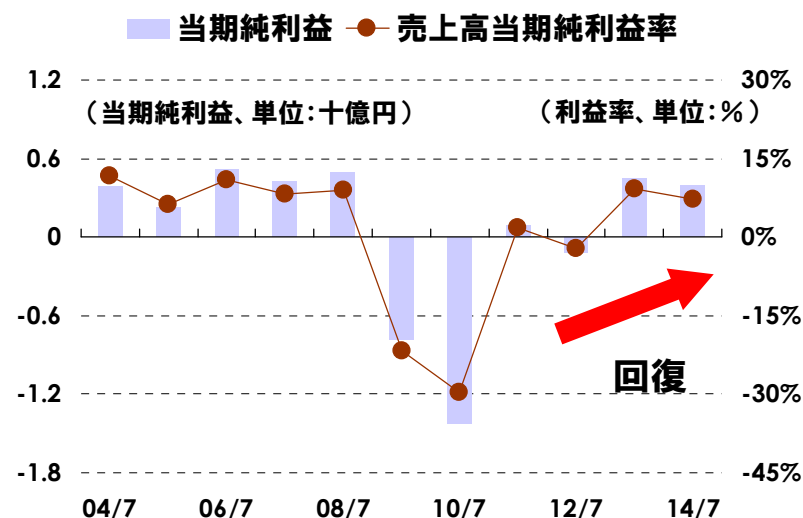
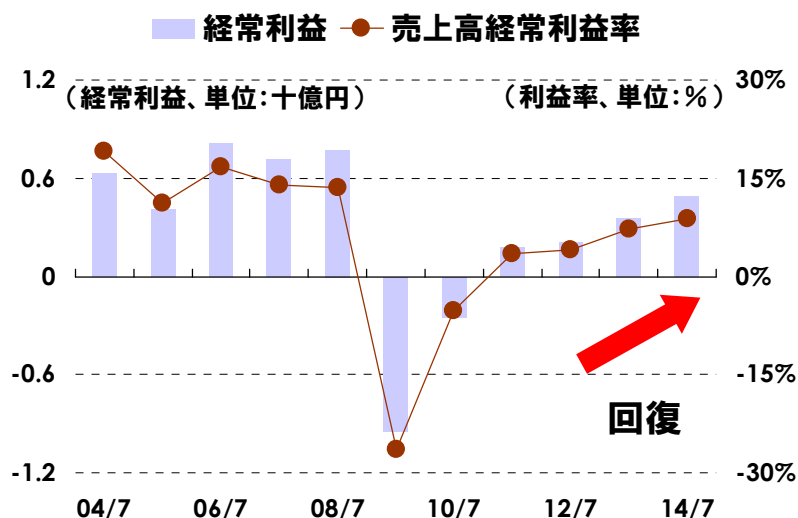
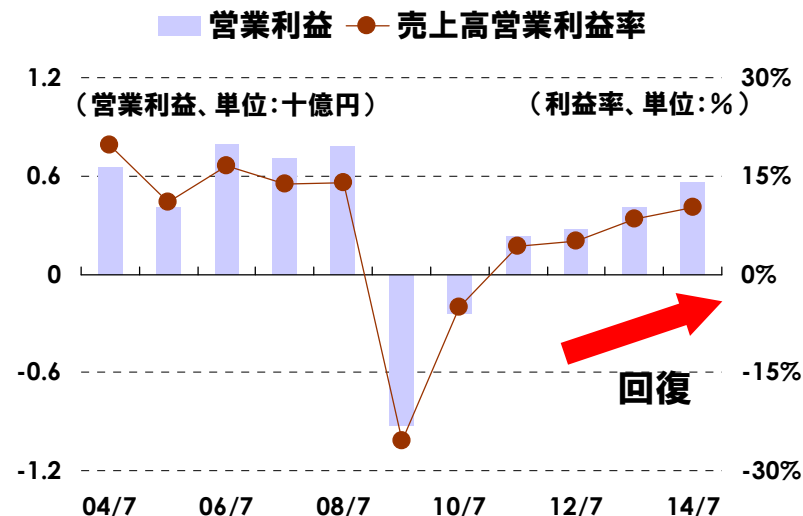
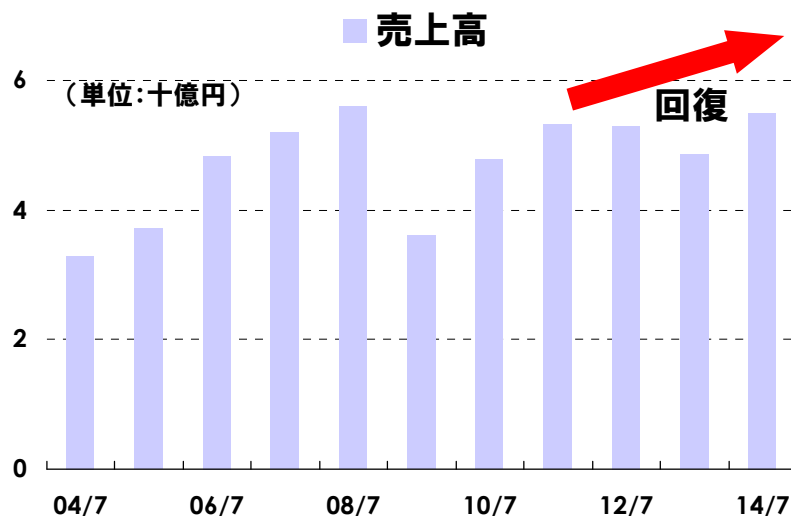
15/7 累計	15/7 通期計画
37	234
37	172
0	62
38	224

(単位:百万円)

	12/7 累計	13/7 累計	14/7 累計
研究開発費	570	449	464
対売上比率	10.8%	9.3%	8.4%

15/7 累計	15/7 通期計画
108	550
6.6%	8.6%

業績・財務指標の推移(1)



業績・財務指標の推移(2)

